

ホーム

盛岡市鉈屋町町内会

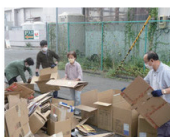


町内会だより第37号 2020/12/01発行



- 幹江家の浪路人形
- わかプロが鉈屋町の活躍で受賞
- 11月15日資源回収
- ボンネットバスが鉈屋町へ
- 町家でそば打ち体験
- 十文字稲荷社新大祭
- 秋の収穫祭

町内会だより第36号 2020/11/01発行



- 鉈屋町町内会だより再刊にあたって
- 9月13日資源回収
- 敬老会について
- 無電柱化工事の説明会
- 盛岡彫刻シンポジウム野外展

木製電柱マップ2020



町内会だより第36号にもあるとおり電柱の地中化と街灯付け替えが計画されていますが、デザイン案の一つに木製(つばい)電柱がありました。そこで町内に現役の木製電柱はないかと探したところ、意外なところに見つかりました。探検気分ですらう！

鉈屋町町内会だより

鉈屋町町内会ホームページができました
 町内会役員でもあり、鉈屋町シェア工房を営む岩崎祐馬さんが、鉈屋町町内会のホームページが、

不定期発行
 発行者 鉈屋町町内会
 編集 / 文責 / 撮影 桂 汎用工房 脇田桂一郎
 印刷 小松総合印刷株式会社

ジを立ち上げてくださいました。できたばかりで、町内会だよりの閲覧が可能になったのですが、今後内容を増やしていきたいとのこと。

令和2年12月末の段階では、まだグーグル検索にヒットしないようです。ご面倒でもURLを打ち込むか、QRコードをご利用ください。



QRコード

鉈屋町町内会ホームページ URL
<https://natayacho.jimdofree.com>

ごみの問題を改めて考える

「ごみの問題が議論されるたびに「ルールを守る」ことが強調されます。これは当然のことですが、新参者にとってはなかなか分からないことがままあります。半年前に越してきた時の体験と、ここ数週間のごみ集積場所観察を踏まえて、少し考えてみました。

引越してきて、町内の「ごみ」についてのルールをどうやって知るか？

市役所に移転や転入届を出す
 と、ごみ収集に関する資料が手渡されます。また盛岡市の広報やホームページからも情報を得ることが出来ます。ただしこれらで分かるのは、

- 「ごみの出し方」
- 「ごみの収集日」
- 「ごみの分別の仕方」

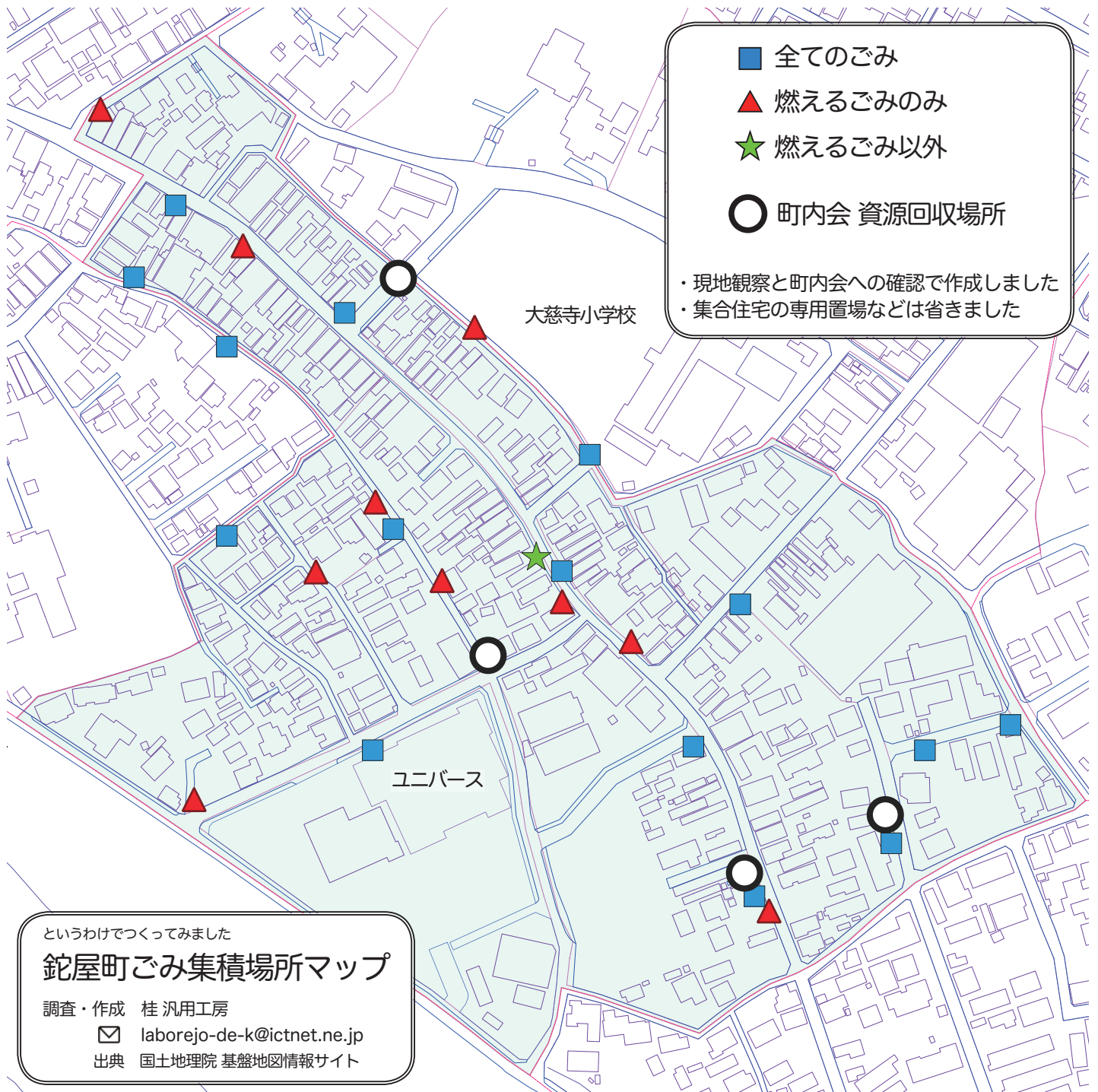
実際に出す時知りたいのは…
 ままでとなります。

1 ごみの集積場所は
どこか？

ごみ用のネットや箱があれば
なんとなく分かりますが、ごく
稀に普段はなにもないのに収集
日だけごみが積まれている場所
があったりします。ごみ集積場
所の地図なども探しましたが見
つけられませんでした。盛岡市
はごみの収集のため集積場所を
把握していますが、一般への公開
はしていないとの返答がありま
した。

2 ごみを出すとき内側、
外側どちらに？ など

燃えるごみならネットや箱の
内側というのは分かります。し
かしその他のごみは内に入れる
のか、外に置くのかは集積場所
ごとの慣例で決まっていますよ
うに見受けられます。出していい
ごみの種類が表示されていない
場所もあります。こうなるとそ
こを使っている方に尋ねるか、
収集日にどう置いてあるか観察



するしかないようです。

また集積場所によって「燃えるごみ専用」という表示がありますが、燃えるごみしか出せないのか、燃えるごみしか「内側に入れない」のか判断しづらい場所もあります。

3 一番近いごみ集積場所が 他の町内なのですが？

家の前の道路を挟んで向かい側にごみ集積場所があるが、そこは違う町内の場合、ごみを出していいものなのでしょうか。

このような疑問に関しては答えが出ませんでした。市役所、町内会、ごみ集積場所の近くに住む方などとお話しましたが「だめとは言えないが、それぞれの町内に出すほうが望ましい」といったあたりに着くのではないかと感じました。

何れにせよごみ集積場所を管理しているのは、それぞれの町内であることと、場所ごとの慣例があるということをお忘れなきようにすべきだとは思います。

このようにルールを守ると言っても、そのルールが明示されていなかったり、厳密にルールを決めることのできないこともあります。

きちんと町内会なり近所の方に聞くのが一番なのでしょうが、引越した当時、私の聞き方が悪かったのか尋ねる人によって答えが違っていて、悩んだこともありました。他人に話しかけるのが苦手な方もいるでしょう。違反だと思つても「注意」や「警告」を行うのではなく「教えてあげる」ことも方法の一つかもしれません。

ちなみに盛岡市役所環境部にも上記1〜3の質問をメールで行いましたが、いずれについても「お住まいの町内会へご確認いただきたい」との回答でした。

町内会資源回収と

資源ごみの回収の違い

町内会の資源回収で集まったものは、回収業者に買い取って

もらうことで町内会の資金となります。市の資源ごみ出した場合は回収されるだけです。

回収業者によって買い取りできる資源の種類は異なります。鉦屋町内での資源回収品目は次のようになっています。

- 茶色と緑色の一升瓶（その他の色のものは市の回収へ）
- アルミ缶（アルミ以外のフタは取って市の不燃ごみへ、プルタブやアルミのキャップはついたままでもよい）
- ビール瓶（大瓶・中瓶のみ、小瓶は市の回収へ）
- 段ボール（つぶした物を段ボールの箱に詰めて）
- 古新聞、広告チラシ、古雑誌（できれば紙ひもで結んで）

それ以外のものは、盛岡市の資源ごみ、古紙の回収へお出しください。

- 茶色と緑色以外の一升瓶
- 四合瓶
- スチール缶
- ジュース、コーラ瓶
- ペットボトル
- ティッシュ箱等の厚紙

ブルーライトアップ された町家物語館

光音堂さんの主催で、12月16日に「もりおか町家のぶるーらいとイルミネーション」が、もりおか町家物語館 風の広場で行われました。寒い中でしたが幻想的な眺めでした。



佐々木龍大さんの初個展

旧かねてつ園で正藍染の工房 some-mono を営む佐々木龍大さんの個展「正藍の型染浴衣展」に、12月5日に伺ってきました。

藍(あい、インディゴ)の色は好きなので見ていると安心できるのですが、これらの作品を染め上げるのは大変な仕事かと思えます。

型染なので、色を抜くところに糊を塗るといった繊細な作業から、それを染料に漬け込み、水洗いするといった力仕事まで。しかも色の濃さを変えるため、その作業を繰り返し行うこともあるとか。そういえば一反って長さがどれくらいなのかお尋ねし



たら、佐々木さんの場合は約13mだそうです。それだけの布に糊を付けて水に浸したら何kgになるか、想像が付きません。

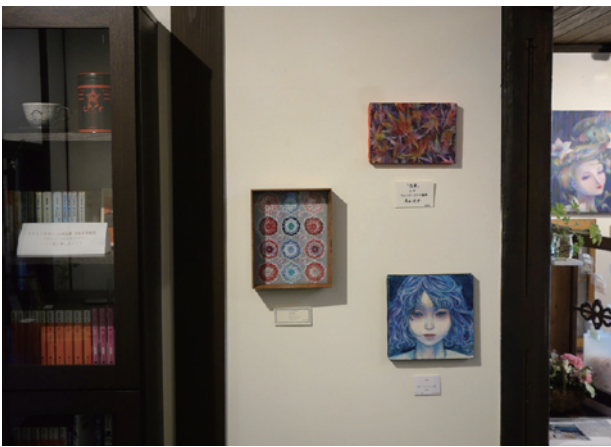
最後に仕事場を少し覗かせていただきましたが、実にいい感じに使い込まれていて、ああこの方は職人だなとの思いを強くしました。



DOMAと コーヒーと作品と

イベント関連の取材で町家物語館に伺うことが多くなり、自然とそこにあるカフェDOMAに寄ることも増えました。イベントの合間に休憩したり、寒いときに避難して「町家ブレンドコーヒー」を頂いております。

ここはギャラリーとしても使われています。今回は「CYM展 絵画と手芸の作品展」で高田妹伊さん、杉浦悠理子さん、川村千紘さんの三人展でした。鮮やかな色合の作品が並びます。



前回は書の作品と様々な作風の展示が行われますが、それらを違和感なく取り込んでしまう不思議な空間です。



編集後記

ずっと疑問に思っていたも、なんとなくそのままになっていた、分かっていたつもりでも、よく考えるとその理由を知らなかった、などということがあります。基本的に好奇心で生きていくところがあるので、そういうことに引つかかると明らかにしたくなる質なのですが、答えに辿り着かないことも度々です。元々理由や答えがないこともあるし、長い年月のうちにもそれらが忘れられていることもあるでしょう。それでも気になって調べたり、探して歩き廻ったりするので。 (桂)